

1 令和3年度柏市地域包括支援センターの事業評価について

- (1) 承認・不承認
 ・承認 : 10名
 ・不承認 : 0名

(2) 委員からの意見等

| 内容 | 委員 | 御意見等 | 市の回答 |
|---------------|------|--|--|
| 評価指標、評価結果について | 鎌田委員 | 柏市独自の評価指標は、細目が広範に亘り、支援センター機能の利用者の満足度を更に高めること、及び新規利用者の拡充により、市民の幸福に繋げる意図が大変よく伺えることから、大賛成です。 | ・センターへの聞き取り等において、成果基準を設定した項目を中心に具体的な成果を確認すること等により、コロナ禍においても適切な評価が行えるよう進めてまいります。 ・成果基準を含めた評価基準に基づき評価を行い、ホームページ等を通じて公表してまいります。成果につきましては、聞き取りを行うなかで具体的内容を確認してまいります。 ・公表内容につきましては、市民の皆様が結果が伝わりやすいよう工夫してまいります。 |
| | 齊藤委員 | 現在の事業評価については問題ないと思うが、ここ数年コロナにより事業内容の縮小や変更が多くなっており、別の評価軸としてコロナ禍で「Aプランは無理だったがBプランならできた…」など、現在の評価は低いが、Bプランとしては成果があったなどの評価があってもよいのではないか。 withコロナが今後何年も続いていくと思うので、それにより沿った評価項目があってもよいと思う。 | |
| | 前野委員 | 評価基準において成果基準を設けることは、施策に対する効果を測るという点で良い事だと思います。但し、その基準が数値化されているなど、客観的に行うことが重要だと思います。 市民にとって、目に見えて、市民へのサービスが向上することが良いことだと思いますので。 この地域包括センターがそれぞれの地域で、どのようなネットワークで活動しているのか、まだ十分に把握していないので、柏市のホームページなどを閲覧し、理解を深めようと考えています。 | |
| アンケートについて | 井部委員 | 独自の事業評価の実施スケジュールを見ると、期間が半年もかかり、大変な作業に感じました。担当者の方々ご苦労様でした。アンケート調査ですが、総合相談の利用者にも実施したようですが、各センターで、総数ではどの位になったのでしょうか。紙アンケートを郵送し、回答済み用紙の返送をしてもらう調査手法のようですが回収率はどの位か気になりました。 | ・センター利用者を対象としたアンケートにつきましては、今年度集計したアンケート（前年度事業対象）では1,003名に依頼しており、回答率は48%でした（令和3年度第1回運営協議会にて報告した資料等を御参照ください）。 ・今年度事業を対象とするアンケートにつきましては、利用者751名を含む1,965件に回答を依頼する予定です。結果は次年度の運営協議会にて御報告する予定です。アンケート依頼先は、各センター利用者のほか、柏市医師会、柏歯科医師会、柏市薬剤師会、柏市民生委員児童委員協議会、市内居宅介護支援事業所、病院医療相談員です（資料の「要旨」2ページを御参照ください）。 |
| | 中村委員 | 質問ですが、アンケートは何件ぐらい依頼して集計するのか。関係機関とはどのような業種に依頼するのか。 | |

2 令和4年度柏市地域包括支援センターの運営体制について

- (1) 承認・不承認
 ・承認 : 10名
 ・不承認 : 0名

(2) 委員からの意見等

| 内容 | 委員 | 御意見等 | 市の回答 |
|----------|------|--|--|
| 委託仕様について | 鎌田委員 | 令和3年度の仕様レベルは総合的に大変高いと思われ、令和4年度も同水準を維持して頂きたい。特に人員配置の変更後に実効を期待致したい。 | ・常勤職員の配置については国の基準に照らして、また、プランナーの配置についてはケアプラン数や常勤職員数等を考慮して設定しておりますが、市としましては、各地域のニーズに細やかに対応できるよう地域包括支援センターと連携し、引き続き、後方支援してまいります。 ・事務補助員の勤務日数や勤務時間につきましては、業務委託に当たり委託料を支払う都合上、上限を設定しておりますが、センターの実情に合わせた勤務が可能となるよう、設定の範囲内で配置できるよう定めているところです。 |
| | 齊藤委員 | 包括が土よう日に窓口が開設しているのはとてもありがたい。働いている家族が相談しやすい。 要支援の方のプランナー（ケアマネ）が足りず待機者がいると聞いた。介護申請をするには、それなりの理由があるので、待機することなくサービスが利用できるとういと思う。 | |
| | 中村委員 | 事務補助員の勤務日数及び時間の上限拡大は、常勤職員やプランナーが専門性を持った業務に集中できるので望ましいと思う。 センターの実情に合わせて、事務補助員の勤務上限は柔軟に対応してもいいのではないか。 | |
| | 前野委員 | 業務委託仕様書案を一読しての印象ですが、項目が多く、10人前後の職員で業務をこなせるのかと思いました。 配置基準を1,500人以下にしたことは質の向上につながります。 「高齢者が安心していきいきと暮らす」ためには、人生が豊かで健康であることが重要なので、介護も認知症も予防・改善するための質の高い医療、きめ細かな行政サービスなどが重要であり、それらを向上させる施策に重点を置いてほしいと考えます。 | |

3 柏市地域包括支援センターの適正配置について

(1) 承認・不承認

・承認 : 10名

・不承認 : 0名

(2) 委員からの意見等

| 内容 | 委員 | 御意見等 | 市の回答 |
|------------------------|------|---|---|
| 柏南部第2地域包括支援センターの移転について | 井部委員 | 元気な高齢者にとっては、「地域包括支援センター」の認知度は、まだまだ低く、介護が必要になって初めて認識する方が、多いようです。「柏南部第2地域包括支援センター」の移転は、フレイル予防段階での利用促進を期待したいです。 | <ul style="list-style-type: none"> ・移転に向け、当該地域包括支援センターと連携して計画的に進めてまいります。 ・地域包括支援センターの認知度向上に向けて、引き続き、検討してまいります。 |
| | 鎌田委員 | 移転後の効果が多方面に好影響を生み出しそうで期待致したい。 | |
| | 中村委員 | 「柏南部第二地域包括支援センター」がほのぼのブラザますおに移転することは、元気高齢者から介護予防、介護相談などトータルな支援が可能になるので期待できる。通常業務をしながら近隣の周知など大変かと思いますが、よろしく願います。 | |
| 令和5年度の常勤職員定数について | 齊藤委員 | 常勤3職種一人当たり高齢者数1,500人以下となっているが、地域差、高齢化率、住宅の密集度、ぎゃく待率、後期高齢化率、要介護認定率などなど、様々な要因の分析により職員定数を決めていると思います。その具体的な分析内容が気になりました。 1,500人以下という基準は必要だと思うが、それ以外の定数を決める時に考慮している点を教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・センターの人員につきましては、担当圏域の要介護（要支援）認定者数や相談件数、予防ケアプランの作成数、執務室のスペース等を考慮し検討しておりますが、国の定めに基づき、担当圏域の第1号被保険者数（高齢者数）により設定しているところです。 ・年度ごとの職員配置数につきましては、第8期柏市高齢者いきいきプラン2-1に基づき、市全体の高齢者数に対する職員数を段階的に増員配置することとしております。 |
| | 前野委員 | 配置人数ですが、来年度には完全に改善され、良いのですが、北柏第2と柏南部地域が改善されるのが来年度になるのは、何か事情がありますか。委託先は2地域を担当していて、もう片方は基準内にあります。 | |

3 その他意見

| 内容 | 委員 | 御意見等 | 市の回答 |
|------|--|--|---|
| | 石山会長 | 地域包括支援センター及びそれを支えられる柏市地域包括支援課の皆様には、逐次変化する感染症対応のなか、地域の高齢者の方の健康増進のためにご苦労されながら前向きな検討と対応をなされていることがわかりました。いつもありがとうございます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市としては、コロナ禍においても地域包括支援センターが地域の身近な相談支援機関として地域・市民に寄り添って活動できるよう、関係部署との連携を図りながら、引き続き、支援してまいります。 |
| | 井部委員 | 地域包括支援センターが主体となり、地域会議も多く開催されるようになりましたが、地域での課題も多種多様になり、各職種間での連携は必須となっています。コロナの影響もありますが、工夫しての対応を期待しています。 コロナ感染防止のために会議等、開催が難しくとも残念に感じるとともに、今回の感染力は、とても強く、高齢者施設内、知人での感染も多く、身近になった気がしています。 | |
| | 鎌田委員 | コロナ禍の収束がまだまだ見えない中、多くの市民が良くも悪くも自粛生活に慣れてしまっている。コロナ以前と違う日常生活は、同時に様々な不安心理を生み出しているものと思う。 地域包括支援センターが、異常時が続くこのような時こそ、多くの高齢者にとって一層心強く、有難い仕組・存在であると確信しています。 安堵感を渴望している高齢者に、もれなく光が当たるよう期待致しております。 | |
| | 高野委員 | 各地域特性があると思うので、その地域に合わせた支援ができるよう、これからも運営よろしくお願い致します。 | |
| | 前野委員 | 今回の資料で、地域包括支援センターは介護保険法に基づくものと認識しました。本来行政が行うことを、民間の団体に委託していることを協議会の委員になって初めて知りました。委託すること自体は問題ありませんが、柏市の税金で賄われおり、センターがより効率よく、実効のある活動できる仕組みであってほしいと思います。 柏市が高齢者福祉など福祉事業がどの程度の質か今まではあまり気にしていませんでしたが、市のホームページなどを閲覧し、理解を深めたいと思います。 | |
| 村上委員 | コロナ禍においても支援や見守りを必要としている方は変わりませんし、むしろ増えているかもしれません。なかなか計画通りに進まないことも多い状況ではあると思いますが、今後ともよろしくお願い致します。 | | |